

大飯原発地震動

「再計算望ましい」

島崎氏が会見

関西電力大飯原発（おおい町）の耐震設計の目安となる基準地震動を巡り、過小評価の可能性を指摘している島崎邦彦・東京大名誉教授（地震

学、元原子力規制委員会委員）は15日、都内で記者会見し「過小評価されている可能性が非常に高い。議論や結論には納得できない。再計算するのが望ましい」と述べた。

島崎氏は「積極的発言を避けてきたが、逆に誤解を招いたので見解を公表する」などとする14日付の抗議文を、田中俊一委員長に送付。規制委は19日に島崎氏と面談して説明を受ける。

規制委は、検証で得られた地震動は最大加速度644μm/s²で、基準地震動を下回るため、見直す必要はないとしている。